

PLM (ものづくりエンジニアリング基盤)

# Obbligato NEW

**ものづくりの基準情報 (BOM/BOP) をグローバルで統合管理  
製品情報共有基盤として製品開発力を強化し企業の継続成長に貢献**

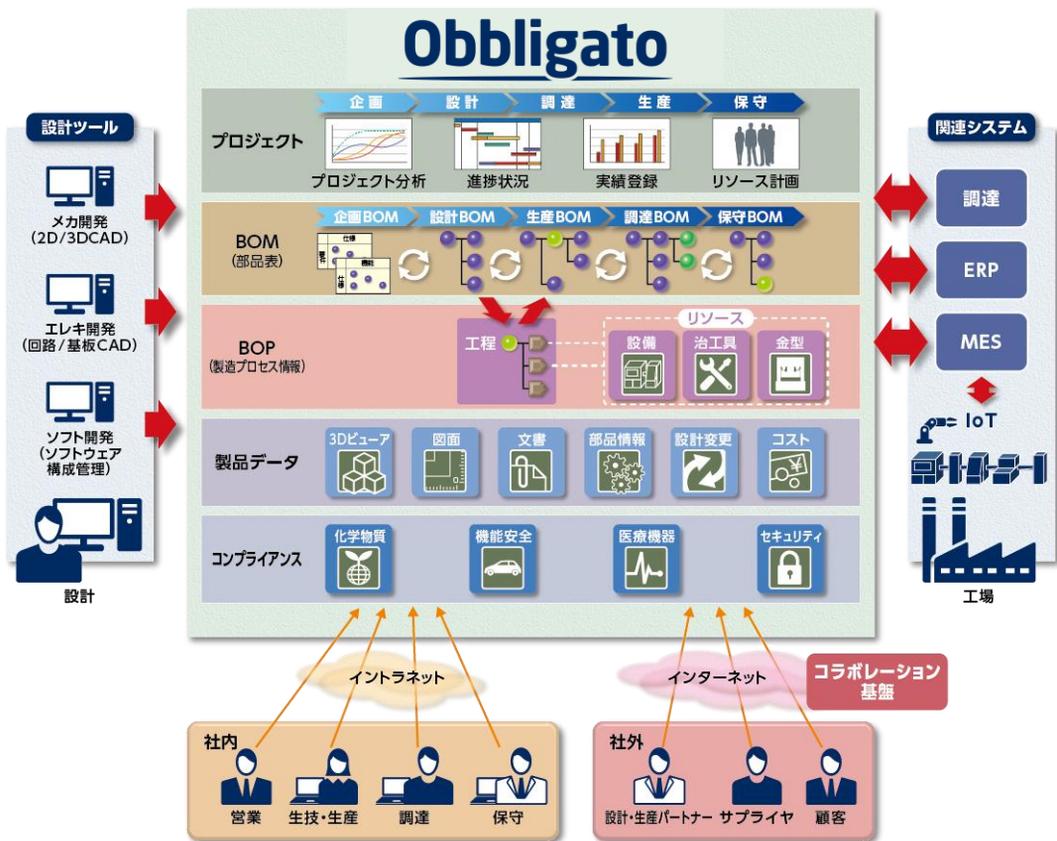
NECのPLM※1「Obbligato」は、おかげさまで 24年連続 国内トップシェア※2 を堅持、お客様と共に進化し続けて参りました。今回の展示会では、

**使いやすい、繋がりやすい、PLMプラットフォームへと進化した新しい「Obbligato」**

をご紹介します。

※1 PLM : Product Lifecycle Management

※2 出典：株式会社テクノ・システム・リサーチ「2019年機械系CAD/PLM関連ビジネス市場分析調査」(2019年7月)



## Obbligato 提供価値

Value 新しい価値創出	Speed 開発期間短縮	Quality 品質保持	Cost コストダウン	Sustainability 事業継続
<input type="checkbox"/> デジタルマーケティング <input type="checkbox"/> サービス型ビジネスモデル <input type="checkbox"/> マスカスタマイゼーション <input type="checkbox"/> エコシステム構築	<input type="checkbox"/> 設計と生産の連携強化 <input type="checkbox"/> コンカレントエンジニアリング <input type="checkbox"/> モジュラー設計 <input type="checkbox"/> 設計業務効率化	<input type="checkbox"/> 設計変更の正確な伝達 <input type="checkbox"/> トレーサビリティ強化 <input type="checkbox"/> ナレッジの継承 <input type="checkbox"/> ものづくりのPDCAサイクル確立	<input type="checkbox"/> 設計段階からの原価の作り込み <input type="checkbox"/> 部品標準化促進 <input type="checkbox"/> 設備の有効活用 <input type="checkbox"/> 外部リソース活用	<input type="checkbox"/> セキュリティ強化 <input type="checkbox"/> 環境マネジメント <input type="checkbox"/> ISO対応 <input type="checkbox"/> BCP対策

**国内PLM市場No.1の実績**

**24年間国内トップシェアのPLM**

PLM製品の国内市場実績において、1995年から2018年まで、24年連続で「Obbligato」が第1位を堅持しています。

**950社以上の導入実績**

電機、機械、輸送機等の組立製造業を中心に幅広いユーザ層で長期間にわたり、ご活用いただいております。

近年はCPG※や素材業でも導入が活発です。

※CPG : Consumer Packaged Goods 消費財

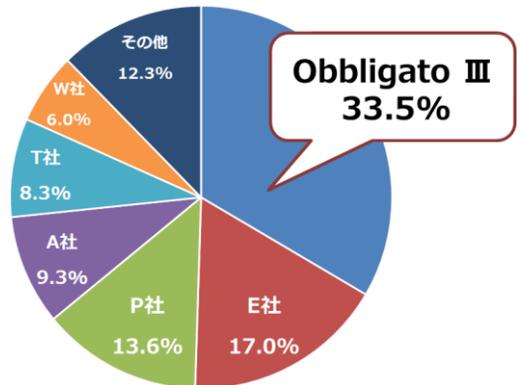
**NECグループ全社での利用実績**

総合電機メーカーであるNECは、グローバル対応力強化のためにグループ全社で開発プロセス改革に取り組み、その基盤となるPLMシステムを「Obbligato」に全社統一しました。事業体ごとにばらばらであったコードやBOMなどの標準化を行い、設計と生産のインターフェースをグローバルレベルで再構築することで、海外最適地生産（どこでも作れる体制）とBCP対応を実現しています。

自社で実装・検証した機能とノウハウは「Obbligato」に反映し、個別から量産に至る様々な業態の設計プロセスを標準化したノウハウをご提案可能です。

2018年PDM/PLM製品別市場シェア

(出荷数量、サイト数ベース)



出典：(株)テクノ・システム・リサーチ

「2019年機械系CAD/PLM関連ビジネス市場分析調査」(2019年7月)

**ものづくりの基準情報 (BOM/BOP) のグローバル統合管理が可能**

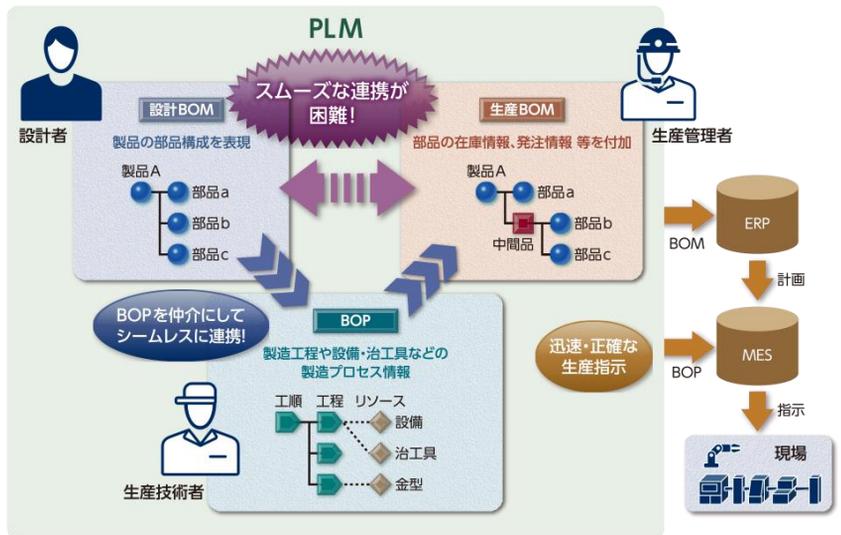
**部門ごとのBOMを上手くつなぐことで、製品開発リードタイム短縮を実現**

BOM(Bill of Materials)は、「どんな部品を、何個使ってつくるか」を表す設計の基準情報です。一方、BOP(Bill of Process)は「どの工程で、どのように、何の設備や治工器具を使って作るか」を表す製造プロセスの基準情報です。設計者と生産管理者は視点が異なり、設計BOMと生産BOMは目的も形も違うため、連携が複雑化しています。

BOPを共通言語に設計-生産を橋渡しすることでスムーズな連携が可能になります。

- BOPの活用により、
- ・ 製造ノウハウの共有
  - ・ コンカレントエンジニアリングの促進
  - ・ トレーサビリティの強化
  - ・ 生産拠点の短期立上げ
  - ・ グローバル生産拠点一貫した品質の維持など

ものづくり全体パフォーマンスの向上が期待できます。



NEC スマートインダストリー本部

URL: <https://jpn.nec.com/obbligato/>

E-mail: [oblsales@cpcc.jp.nec.com](mailto:oblsales@cpcc.jp.nec.com)

●Obbligatoは、日本、中国、香港、台湾、シンガポール、タイおよび米国における日本電気株式会社の登録商標です。  
 ●本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。  
 ●本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。  
 ●本紙に掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものとは多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。